



浜家連ニュース

第166号

平成26年(2014)年6月1日発行

○発行 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階
電話 045(548)4816 FAX045(548)4836

浜家連は平成26年度から新体制になりました。(敬称 略) ～理事長交代と、副理事長が2名増え4名体制になりました～

新理事長 宮川 玲子、再任副理事長 柏木 彰 新任副理事長 鷹野薫 大羽更明 北川 はるみ
退任の米倉 令二は顧問に就任します。

5月30日(金)NPO法人浜家連第6回通常総会が、ラポール2階大会議室で開かれました。特定正会員84名出席、ご来賓に自民党、民主党、未来を結ぶ会、日本共産党の横浜市会議員の先生、健康福祉局の上條課長、松浦係長、障神奈連の上野事務局長、市精連の大友代表をお迎えして、総会が始まりました。司会に北川はるみ、議長に大門紀子、書記に藤井るみえ、議事録署名人に倉澤政江、井汲悦子を選任して議案の審議に入りました。

第1号議案から第6号議案まで、提案され、議場に諮ったところ、異議なく承認可決されました。その他の議案として、浜家連顧問社会保険労務士の小山志郎氏へ感謝状の贈呈があつて会場全員で惜しめない拍手が送られて無事に総会が終了しました。退任・就任の挨拶は下記の通りです。その後、米倉前理事長の慰労会が開かれました。



① 理事長退任に際して “より一層の家族力アップを!! ” 米倉令二

～一番は、困難、喜びをみんなで分かち合うこと、二番は、医療・制度のを中心、幅広い勉強をすること、三番は、広く社会に対する発信力を磨くことです。～

一昨日の通常総会で、浜家連理事長退任を承認いただきました。2年間、本当にありがとうございました。若い力にバトンタッチすることが私の理事長としての任務のうちの一つでした。さいわい、若く有能な新理事長を擁立することができました。また副理事長には、有能で経験豊かなお二人に留任していただき、若く有能なお二人を加えることが出来ました。強力な事務局体制もそのまま維持します。

今、我が国の障害者、とりわけ精神障害者とその家族がおかれている状況は依然として厳しいものがあります。低年齢から精神保健の知識を国民的なものとして共有し疾患の発症を予防する体制は遅々として進みません。多剤大量投与による症状の悪化が問題になっています。今回の診療報酬の見直しに伴う国の指針で、薬剤の減量が期待されますが、

家族から見ると減らし方が過激になりはしないかと新たな心配が出てきます。新しい福祉制度が打ち出されますと、期待が持てる半面、人手が不足する福祉の現場でその制度が充分運用できるのかと、不安に駆られます。

ですが、わが国の精神保健医療福祉制度の歴史を振り返りますと、ジグザグの道をたどりながらも、大局的には前進してきました。

私たち家族会が希望をもって運動を進めていけば、さらに、いい結果が必ず得られると私は信じます。そのために、家族会は集団の力を発揮する、いわゆる「家族力」を強める必要があります。一番の基礎は、困難、喜びをみんなで分かち合うこと、二番目は、医療・制度のを中心、幅広い勉強をすること、三番目は、広く社会に対する発信力を磨くことです。



「調査なくして発言なし」という言葉があります。浜家連は、このところ、「事実に基づく発言」の習慣が身につけてきました。素晴らしいことです。

「運動は裏切らない」とは、藤井克徳さんの言葉です。家族の声、本人の声を拾い上げながら、理にかなった運動を進めましょう。浜家連という大きな神

輿の担い手の小さな一人として、私はずっと皆さんとともに居たいと思います。最後の最後ですが、力の足りない私を支えて下さった皆様に心から感謝します。また、私自身の生活の強力なサポーターである妻と息子に感謝します。

② 理事長就任挨拶

理事長就任にあたって

この度浜家連の理事長に就任致しました宮川玲子です。よろしくお願い致します。

2年前副理事長を軽い気持ちで引き受けてからまさかこんな大役を私がやることになるとは夢にも思いませんでした。若返りとか女性でとか言われ断りきれずに引き受けてから、この先大丈夫なのかと大変なプレッシャーに日夜悩まされております。ただ副理事長が4名になり業務別に常任理事も役割分担するなど、浜家連の沢山の活動を組織的に運営しようという改革を試みています。副理事長以下の人達がみな熱心でしっかりしているので大丈夫でしょう。

さて毎年、市に出している要望書を作成するにあたって会員の皆様に入院・在宅・ディケア・就労など現在生活している所での要望を書いていただきました。やはり在宅の人が圧倒的に多く就労となるとほんの一握りの人です。病気の性質上どうしても家に籠りがちになり親がずっと子供の面倒をみて



宮川玲子（さかえ会）

いるのが現状です。それも落ち着いているのなら良いのですが時に不安定になると親もそれに巻き込まれ精神的に休まる時がありません。

単会ではそんな会員一人一人の悩みを受け止め、困難を抱えながらも家族が前向きに生きられるよう悩みを語る会や家族学習会などを通して支援しています。

また浜家連ではこれらの親の悩みを少しでも解消すべく、医療面・福祉面での充実を願い、障害があっても生きやすい世の中になるよう社会に働きかけています。

これから夏にかけて要望書の陳情活動が始まります。今年は今までの健康福祉局や各党の市議員さんとの話し合いだけでなく医師会や病院協会・JRや私鉄などとも話し合いを持とうとの計画もあります。要求実現のため出来ることは積極的にやっていきたいと思っていますのでご支援を宜しくお願い致します。

③ 副理事長再任挨拶

副理事長再任にあたって

引き続き副理事長を務めることになりました。よろしくお願い致します。

今回、理事長を宮川さんに勇断をもって引き受けていただきました。家事のことなどを考えるとそのご負担は大変なものと思いますが浜家連の将来を考えたとき世代交代は喫緊の問題でした。副理事長として出来る限りのバックアップをしていく所存です。会員の皆さまにも新理事長への温かいご理解とご声援を是非ともお願い申し上げます。



柏木 彰（みなと会）

これからの時代の社会保障政策や福祉施策の基本的な考え方は「自助・共助・公助」だと言われています。

家族会活動の原点は「支え合い」・「学び合い」・「働きかけ」ですが、浜家連の事業運営をして行くにあたっては「支え合い・学び合い」＝「共助」、「働きかけ」＝公助を求める「運動」ということをこれまで以上に強く意識していくつもりです。皆さま方の一層のご支援とご協力をお願い致します。

④ 副理事長就任挨拶 副理事長就任にあたって 鷹野 薫 (あおば会)

この度副理事長に就任することになりました。よろしくお願いいたします。

前任の専務理事の経験を生かし、引き続き施策事業部を担当します。わたしたちの要望を実現するためには、方法は単純です。家族の困っている生の声を集約し、関係当局にいかにか辛抱強く且つ熱心に働きかけるか、関係諸団体といかに強く連帯するか、更に横浜市会の先生方、神奈川県会議員の先生方、国会議員の先生方のご支援ご協力をいかに得るかにかかっています。



一方、わたしたち浜家連の活動は何としても「継続」しなければなりません。そのためには次々とバトンタッチをして行くことです。今回の役員交代はNPO法人

にとって大変困難な「世代交代」が出来たことで、前理事長をはじめ前任の役員に感謝し、新理事長と新任の役員の方の英断に感謝と敬意を表したいと思います。わたしたちは、新理事長の下に団結し、浜家連の「家族力」をより発揮しましょう。

⑤ 副理事長就任挨拶 副理事長就任にあたって 大羽 更明 (たちばな会)

家族会や浜家連に関わってまだ日も浅く、右も左もわからないままに副理事長のご指名をいただき、戸惑っております。精神保健福祉の歴史の知識もなく、浜家連の活動についても全体感に欠け、現場の体験はほとんどありません。



ただ、障害をもつ息子との関係ではいつのまにか15年にもなり、家族として何をどうすればよいのか考え続けてきました。そういう意味では仲間の皆

さんに支えられ教えられてきた体験は貴重だと思っております。

とかく頭でっかちになり前のめりで失敗する性格なので、ゼロスタートで出来ることから始め、諸先輩のご指導を頼りに、無理をせずゆっくりやることを心がけたいと思っております。お役に立つことがあればご遠慮なく使っただけるとありがたく存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

⑥ 副理事長就任挨拶 副理事長就任にあたって 北川 はるみ (白梅会)

副理事長にとお声がかかり、務まるのかしらと戸惑っております。浜家連の歴代の、理事長、副理事長、専務理事、そして、常任理事、理事の方がた、事務局の皆様の現状を変えていこうという情熱、組織を動かして活動する力、にただただ感心して理事会に参加していた私でした。少しずつ現状は変わりつつあるかと思いますが、まだまだ他の障害に比べ遅れをとっています。では、誰が声をあ



げていくのか、それは家族、そして当事者に他ならないと思います。浜家連の活動により、制度が変わったことも事実です。そして新しく仲間に加わった不安をたくさん抱えた家族も、元気になっていくのを(かつて私もそうでした)見てきました。改めて、家族会活動の重要性を感じるこの頃です。皆様のお力を借り、微力ながら、活動していこうと思っております。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

⑦ 慰労会について

総会終了後、米倉前理事長の慰労会が行われました。総会に出席された、会員さん、米倉理事長、奥様の久美子夫人も(都合で途中で退席)出席されて、盛大に開かれました。冒頭乾杯の後、特に米倉理事長夫人には、家庭を守り、当事者



司会者 鈴木本陀理(すずらん会)

及び米倉理事長を支えられたことに感謝をこめて、石井顧問より感謝状が贈られて、金一封も一緒に贈呈しました。

歓談に入り、出席の各単会の代表から、一言づつのお話がありました。特に都筑区すずら



ん会の会員さんの青山さんからは、「家族会の歌」が披露されました。会員さんの気持ちを込められた歌ですので、これからも歌い継がれていけばと思います。(すずらん会では例会の始まる前に歌っています)

終わりに新副理事長の鷹野さんからの手締

めによって、慰労会は終了しました。

これから宮川新理事長の下で新体制になります。家族会会員さんには、今後も浜家連を支えて下さいますようよろしくお願い致します。

平成27年度自民党への要望事項 (補足説明は省略)

～6月16日(月)午後1時から市会棟で自民党との懇談会が開かれます。～

【最重点事項】

1	各区の精神障害者支援医療ソーシャルワーカーを大幅に増員し、最低でも140名にして下さい。その上で、各区の生活支援センターと連携して、アウトリーチを進めて下さい。
2	生活支援センターを中核とした「横浜型アウトリーチ事業」を拡充して下さい。そのための計画的な施策を構築し、全面的な予算措置を講じて下さい。
3	「重度障害者医療費助成制度」は25年10月から精神障害者1級の通院についてのみ、実施されることになりましたが、これを1級の入院にも適用し更に2級の入院、通院に適用するようにして下さい。

【重点事項】

『医療問題』	
1	精神科救急医療体制を拡充し、速やかに入院できるようにして下さい。
2	合併症を受け入れる病院を拡充して下さい。
3	精神科病院協会、精神科診療所協会、精神科医会、の先生方と私たち浜家連の役員が意見交換する機会を市のお力で設けてください。
『医療費問題』	
1	自立支援医療(精神科通院)の医師診断書を無料としてください。
『横浜市福祉制度』	
1	精神障害者にも24時間・365日職員がいるグループホームを各区に最低1か所を目途に設置して下さい。
2	「将来にわたるあんしん施策」に規定する「緊急時ホットライン」を24時間365日、ワンストップのものとして早急に整備して下さい。
3	生活支援センターを拡充し、精神障害者支援の「基地」にしてください。そのためにまず、A・B型の格差を是正して下さい。 A・B型では大きな差があります。B型にA型と同じ予算をつけてください。
4	地域活動支援センター・グループホーム等の職員の待遇を改善して下さい。
『就労問題』	
1	精神障害者に就労の機会を与えてください。まず横浜市で採用して下さい。

【国に働きかけてください】

1	障害基礎年金の金額を障害者が生活できる金額に増額して下さい。
2	無年金障害者を救済するため「特別障害給付金」の支給範囲を ① 強制加入である年金に加入していない期間に障害を負った「未加入者」 ② 保険料を滞納していたために支給要件を満たさない「滞納者」を対象とするよう厚生労働省に働きかけてください。
3	国土交通省にJR運賃、私鉄運賃、航空運賃、有料道路料金等に、精神障害者にも割引制度を適用するように働きかけてください。 今年度は私たち役員が、JR東日本、民鉄協会に直接働きかける機会を市のお力で設けてください。
4	精神障害者の採用カウントを10時間くらいの少ない時間でもカウントして下さい。

病名が変更されました。(変更される主な精神疾患名)

旧精神疾患名	新精神疾患名	旧精神疾患名	新精神疾患名
アスペルガー障害/自閉性障害	自閉スペクトラム症	パニック障害	パニック症
注意・欠如・多動性障害	注意欠如・多動症	性同一性障害	性別違和
学習障害	限局性学習症	アルコール依存	アルコール使用障害
大うつ病性障害	うつ病	神経性無食欲症(摂食症)	神経性やせ症

*平成26年5月28日付で、日本精神神経学会が病名の変更を公表しました。

NPO法人浜家連 平成26年度年間計画

(ブロック別フォーラム・メンタルヘルス講座・浜家連研修会・他)

*** 第1回～第5回の浜家連研修会開催時には、年金相談窓口を開設します。
障害年金の年金受け取りについてご相談の方はご利用ください。**

日付(曜日)	行事名(内容・テーマ)	内容・講師	会場・時間
26. 6.26(木)	単会会長研修会 横浜市内18区家族会会長さんが参加します。	家族会活動の運営その他について 宮川・柏木・鷹野	ラポール2階 大会議室 13:00～16:00
26. 6.27(金)	浜家連研修会 第1回 「統合失調症の認知機能低下の改善」について	講師 橋本 謙二 先生	ラポール2階 大会議室 13:30～16:00
26. 7. 1(火)	「家族による家族学習会」 担当者研修会	26年度実施予定の単会担当者 講師 米倉・柏木	ラポール2階 大会議室 10:00～16:00
26. 7.25(金)	浜家連研修会 第2回 「精神科薬物治療」	講師 松本 俊彦 先生	ラポール2階 大会議室 13:30～16:00
26. 9.13(土)	Bブロックフォーラム	映画「ふるさとを下さい」 講師 藤井 克徳 氏	泉区民文化センター テアトルフォンテ
26. 9.26(金)	浜家連研修会 第3回 「るえか式心理教室」	講師 木村 尚美 先生	ラポール2階 大会議室 13:30～16:00
26.10.4(土)	Cブロックフォーラム 有料 500円	映画「ドコモイケナイ」 講師 島田 隆一 先生	横浜市健康福祉センター
26.10.16(木) ～10.17(金)	みんなねっと全国大会	基調講演・分科会・懇親会	石川県金沢市
26.10.17(金)	浜家連研修会 第4回 「就労問題」	講師 青柳 智夫 先生	ラポール2階 大会議室 13:30～16:00
26.10.24(金)	第20回 メンタルヘルス講座 (事前申し込み制・聴講券をお送りします)	未定	横浜市健康福祉総合センター 4階ホール
26.11.28(金)	浜家連研修会 第5回 「ひきこもり&アウトリーチ」	講師 内田 太郎 先生	ラポール2階 大会議室 13:30～16:00
26.12. 1(月)	Aブロックフォーラム	講演 斉藤 環 先生	青葉公会堂
27. 1. 9(月)	浜家連 新年会	午前中理事会の後、 新年会	ラポール2階 ラポールボックス
27. 1.24(土)	Dブロックフォーラム	講演 白石 弘巳 先生	金沢公会堂
27.3 第2週	浜家連一泊研修	分科会方式による	横浜あゆみ荘

* 浜家連研修会、ブロックフォーラム(Cブロックを除く)はいずれも参加自由で無料です。

平成26年度浜家連研修会計画

NPO法人浜家連の平成26年度の浜家連研修会を以下の通り行います。
5回参加でも1回だけの参加でも構いません。ご参加をよろしくお願いいたします。

回数	日時	会場	テーマ	講師
1	6月27日(金) 13:30~16:00	新横浜ラポール 2階大会議室	統合失調症の認知機能低下の改善について	講師 橋本 謙二 先生 (国立大学法人千葉大学 教授) (社会精神保健教育研究センター病態解析研究部門)
2	7月25日(金) 13:30~16:00	新横浜ラポール 2階大会議室	精神科薬物治療	講師 松本 俊彦 先生 (独法 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所薬物依存研究部)
3	9月26日(金) 13:30~16:00	新横浜ラポール 2階大会議室	るえか式心理教室&リハビリー〜ここまでできる当事者のちから〜	講師 木村 尚美 先生 (ひだクリニック 副院長) 当事者 2名
4	10月17日(金) 13:30~16:00	新横浜ラポール 2階大会議室	横浜SSJの事業内容の紹介と精神障がい者が働くことについて実際に現場で気づいたことなどのお話	講師 青柳 智夫 氏 (NPO法人横浜市精神障がい者就労支援事業会(略称横浜SSJ) 理事長)
5	11月28日(金) 13:30~16:00	新横浜ラポール 2階大会議室	引きこもりや医療に繋がっていない人へのアウトリーチについて	講師 内田 太郎 氏 (横浜市青少年相談センター 所長)

福祉のガイドブック発行について、

皆様に調査にご協力いただき、内容が固まりまして、5月下旬には印刷会社に発注して、6月25日には納品となる予定です。そのため、皆様には7月1日以降お手元に届くようになります。

7月の理事会について

7月11日(金)理事会の開始時刻は午前10時からとなりますので、新理事・常任理事さんはお間違えないように3階会議室1へお集まりをお願いします。午後から健康福祉局から障害者プランの素案骨子に関する説明があります。(所要予想時間 約1時間半から2時間)

編集後記

*** 今月号は挨拶と計画表掲載の為6頁です。**

5月の総会が終わりました。米倉さん・久美子夫人長い間ありがとうございました。締めくくりの挨拶に「ほめましょう!」とのお言葉がありました。普段の生活の中で心して活かしていきたいと思えます。ご夫妻には、これからは健康に充分気をつけてお過ごしください。(事務局 齊藤)

